

環境経営レポート

第7版



対象期間：2022年8月 1日～2023年7月31日

フジ建設株式会社

発行日：2023年11月1日

目 次

I. 組織の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1 ～ 2
II. 実施体制	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3
III. 環境経営方針	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
IV. 環境経営目標	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 5
V. 環境経営計画	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 6
VI. 環境実績結果	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 7, 8
VII. 環境経営計画に基づき実施した取組内容・取組結果とその評価、 次年度の取組内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P9
VIII. 次年度以降の環境経営目標	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P10
IX. 当社の取組・実績	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P11, 12
X. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟などの有無	・・・・・・・・・・・・・・・・	P13
XI. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P14

I 組織の概要（その1）

1. 事業者名 フジ建設株式会社
2. 代表者氏名 斉藤 健司
3. 所在地 本 社 静岡県焼津市中根224-1
重機置場 静岡県焼津市三右衛門新田364-2
高新田資材置場 静岡県焼津市高新田1143
4. 事業活動 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業
5. 従業員数 16人（2023年11月1日現在）
6. 資本金 2,500万円
7. 環境管理責任者 斉藤 健司
連絡担当者 大塚 将克
8. 連絡先 TEL (054)-623-2065
9. 建設業許可 建設業
静岡県知事（特-29） 第25207号

10. 事業の規模

① 設立(現在地) 1982年 7月

② 事業規模

活動規模	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	615	529	441	411	473	320
従業員	人	17	18	18	18	18	18
本社(事務所・倉庫)床面積	m ²	275	275	275	275	275	275
重機置場面積	m ²	661	661	661	661	661	695
資材置場面積(大島)	m ²	899	899	899	899	899	
資材置場面積(高新田)	m ²					2040	2040

※各年度の取組期間は、8月1日～7月31日まで

11. 事業年度

8月1日～翌年7月31日

12. レポートの対象期間及び発行日

環境経営レポート対象期間：2022年8月 1日～2023年7月31日

環境経営レポート発行日：2023年11月1日

13. 認証・登録の対象範囲

活動：土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、造園工事業、産業廃棄物収集運搬業

対象組織：事務・経理部門、現場部門(全組織)

I 組織の概要（その2）

14. 産業廃棄物収集運搬許可

許可の種類	許可番号	許可年月日	有効期限
産業廃棄物収集運搬業許可	第02201098176号	令和4年 8月27日	令和9年 8月26日

15. 産業廃棄物収集運搬許可の種類

産業廃棄物収集運搬業	廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を含む。)、 がれき類(石綿含有廃棄物を含む。)、木くず
------------	---

16. 受託産業廃棄物収集運搬量実績【下請け分】

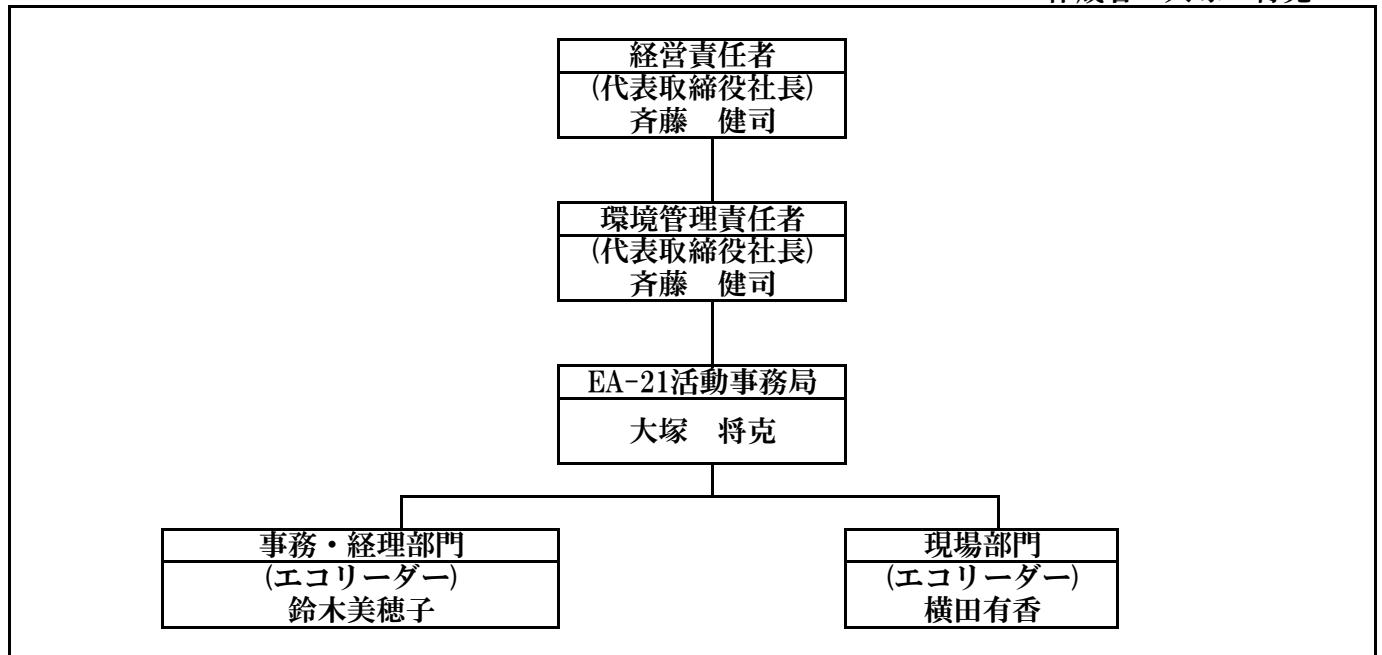
種類		収集運搬量	
アスコン ガラ	2022年8月 1日～2023年7月31日	216.00	t
コンクリ ートガラ	2022年8月 1日～2023年7月31日	0.00	t
合計		216.0	t

17. 保有車両

種類	車両番号	最大積載量	台数
ダンプ	静岡101 さ 1000	3,450kg	1 台
ダンプ	静岡400 と 1507	3,000kg	1 台
ダンプ	静岡430 に 4000	3,000kg	1 台

Ⅱ 実施体制

策定日：2017年11月 1日
作成者：大塚 将克



〈環境管理組織における機能〉

経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 環境方針の作成と社員への周知
- ③ 全体の評価と見直し
- ④ 実施体制の構築、経営資源の準備

環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境目標及び環境計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への推進報告

EA-21活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 活動計画の予定と実績の管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェック
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 法規制最新版管理
- ⑥ 文書・記録の管理

各部門

- ① 環境計画の実施
- ② 月別部門データの集計
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育

Ⅲ 環境経営方針

《企業理念》

フジ建設株式会社は、社訓・経営理念に基づき、本業である建設工事の事業活動を通じて、地球温暖化問題への取組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取組みます。

安全で安心していただける工事を積極的に取組みお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動が当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

《環境方針》

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進致します。
 - ① CO₂削減の為に省エネ活動に取り組めます。
 - ② 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組めます。
 - ③ 受諾した産業廃棄物の適正処理に努めます。
 - ④ 水資源を有効活用し、節水に努めます。
 - ⑤ 建設工事は環境に配慮した工事を実施致します。
 - ⑥ 建設リサイクル法による適正処理を致します。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営のシステムを継続的に改善します。
3. 環境に関する法規制及び協定を遵守致します。
4. 全社員が環境方針を理解し、それを周知徹底する共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。また、社外に環境活動レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図っていきます。

2017年11月1日制定

2020年8月1日改定

フジ建設株式会社

代表取締役社長 齊藤 健司

Ⅳ 環境経営目標

1. 中期的目標

項 目			単位	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				2016年8月 ～ 2017年7月	2018年8月 ～ 2019年7月	2019年8月 ～ 2020年7月	2020年8月 ～ 2021年7月	2021年8月 ～ 2022年7月	2022年8月 ～ 2023年7月
				基準値	目標増減率	目標増減率	目標増減率	目標増減率	目標増減率
二酸化炭素排出量			kg-CO ₂	108,733	-2%	-3%	-4%	-5%	-5%
内 訳	電力		k W h	22,747	-2%	-3%	-4%	-5%	-5%
	ガソリン		L	7,180	-2%	-3%	-4%	-5%	-5%
	軽油		L	29,216	-2%	-3%	-4%	-5%	-5%
	灯油		L	554	-2%	-3%	-4%	-5%	-5%
	プロパンガス		k g	901	-2%	-3%	-4%	-5%	-5%
廃棄物	一般廃棄物	排出量	t	(※ 1)	現状把握	-2%	-3%	-4%	-5%
	産業廃棄物	排出量	t	287	-2%	-3%	-4%	-5%	-5%
		リサイクル率	%	100	100	100	100	100	100
水道使用量の削減			m ³	175	-2%	-3%	-4%	-5%	-5%
建設工 事に関 する取 組	環境配慮工事の提案		件	0	+1	+2	+3	+4	+5
受託し た産業 廃棄物 の収集 運搬に 関する 取組	収集運搬取扱量の平準化、 適切な収集運搬計画の作成 による走行距離の短縮化			未実施	適正処理に努 める	適正処理に努 める	適正処理に努 める	適正処理に努 める	適正処理に 努める
	収集・運搬産業廃棄物の飛 散防止								

<備考>

- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力（平成27年度）の調整後排出係数「0.482kg-CO₂/kWh」を使用した。
- ※印1は、2018年度（2018年8月～2019年7月）の実態把握に基づく数値が基準となる。

V 環境経営計画

取組期間(2022年8月1日～2023年7月31日)の環境経営計画

目 的	区 分	項 目	責任者	活動項目	取組期間											
					8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	斉藤	①消灯の確認・徹底	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
				②必要な照明以外消灯	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
		空調	斉藤	①温度設定 夏28℃冬20℃	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
				②クールビズ・ウォームビズ	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
				③フィルター定期清掃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				④使用しない部屋の空調停止	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
		その他	斉藤	①OA機器の節電	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
	ガソリン・軽油	乗用車 トラック	大塚	①エコドライブ	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
				②日常・定期点検の実施	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
		重機	大塚	①アイドリングストップ	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
				①排ガス・低騒音型機械の使用	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
廃棄物リサイクル	事務所		斉藤	①コピー用紙の両面使用	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
				②集約化購買	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
	産業廃棄物リサイクル		斉藤	①廃棄物の分別化	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
節水	上水		大塚	①節水表示	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
				②ストップガンの取付	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
建設工事に関する取組	特定工事他	特定工事	斉藤	①建設副産物リサイクル率向上	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
				②環境配慮工事の提案	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
受託した産業廃棄物の収集運搬に関する取組	特定工事他	特定工事	斉藤	①収集運搬取扱量の平準化、適切な収集運搬計画の作成による走行距離の短縮化	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
				②収集・運搬産業廃棄物の飛散防止	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
地域貢献			大塚	①近隣道路清掃					●					●		

VI 環境実績結果

取組期間(2022年8月～2023年 7月)における環境実績結果

項 目			単位	基準期間	取組期間				
				2016年度	2022年度				
				2016年8月 ～ 2017年7月	2022年8月 ～ 2023年7月				
				基準値	目標 削減率	目標値	実績 削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量			kg-CO ₂	108,733	-5%	103,296	-22.7%	79,849	○
内 訳	電力		kWh	22,747	-5%	21,610	-11.5%	19,135	○
	ガソリン		L	7,180	-5%	6,821	-34.0%	4,505	○
	軽油		L	29,216	-5%	27,755	-21.6%	21,753	○
	灯油		L	554	-5%	526	-4.8%	501	○
	プロパンガス		kg	901	-5%	856	-28.7%	610	○
廃棄物	一般廃棄物	排出量	t	1.009	-5%	0.959	0.5%	0.963	△
	産業廃棄物	排出量	t	287	-5%	273	195.4%	806	×
		リサイクル率	%	100	—	100	—	100	○
水道使用量の削減			m ³	175	-5%	166	-6.2%	156	○
建設工事に関する取組	環境配慮工事の提案		件	0	—	5	—	5	○
受託した産業廃棄物の収集運搬に関する取組	収集運搬取扱量の平準化、適切な収集運搬計画の作成による走行距離の短縮化			未実施		適正処理に努める		努めた	○
	収集・運搬産業廃棄物の飛散防止								

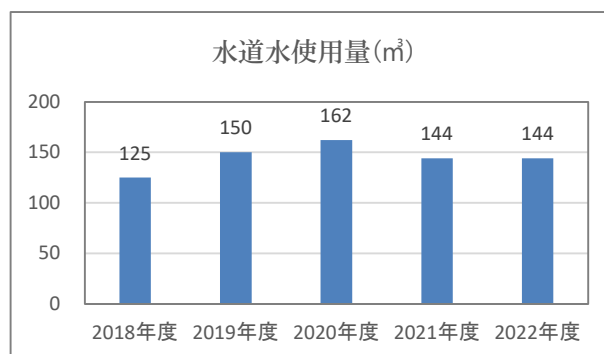
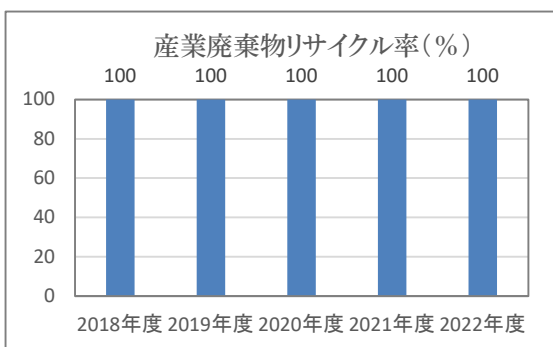
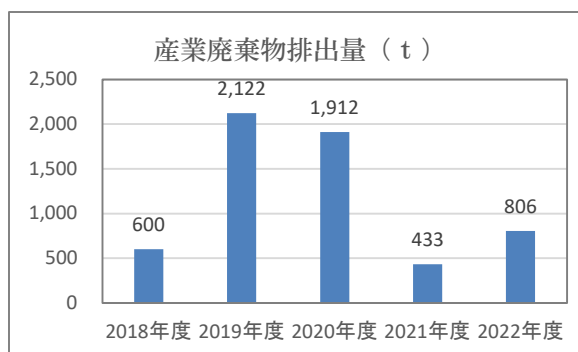
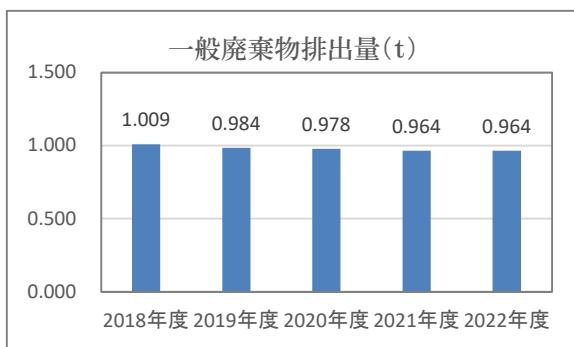
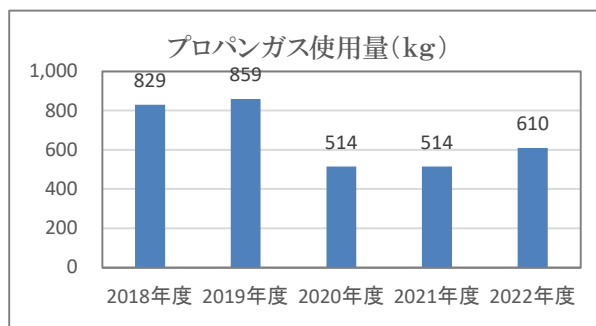
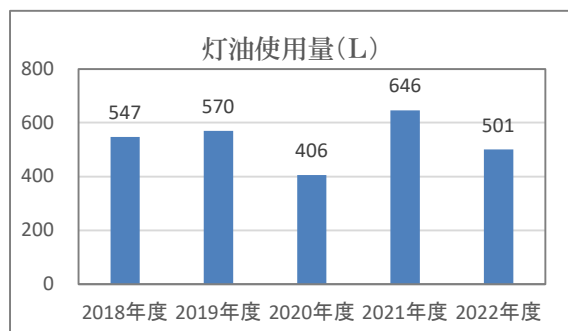
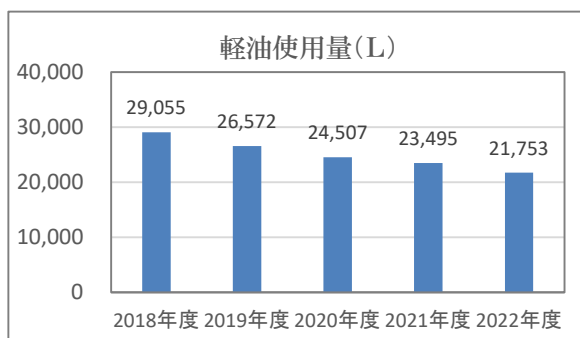
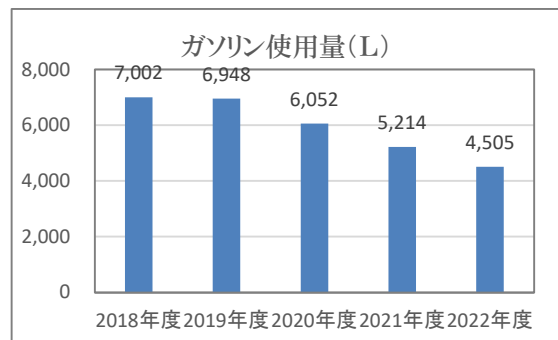
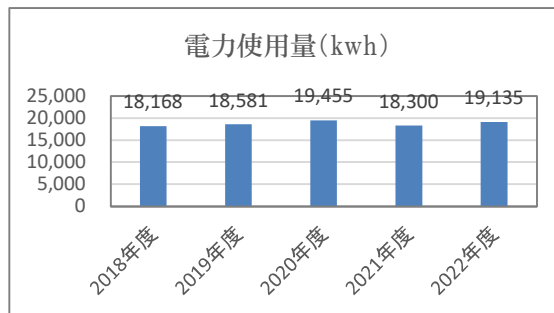
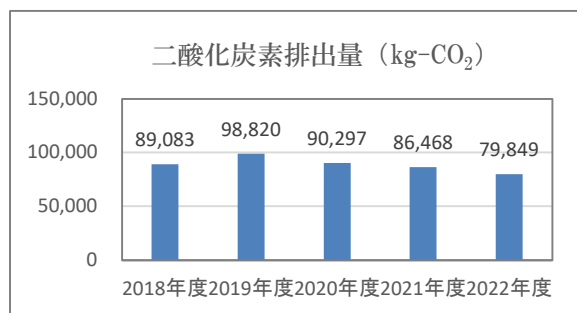
<備 考>

1. 評価：○は出来た △はほぼ達成 ×は未達成
2. 実績削減率＝[(実績値-基準値)/基準値]×100
3. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力(平成27年度)の調整後排出係数「0.482kg-CO₂/kWh」を使用した。

<評 価>

灯油使用量	原因	①若干ではあるが排出量が増加した。
	是正	①従業員に対して排出量削減を呼びかける。
産業廃棄物排出量	原因	①元請工事が増加した。
		②アスファルトガラが発生する道路舗装工事が多かった
	是正	①排出事業者として責任を持って発生廃棄物の適正処理を実施する。 ②廃棄物の発生が抑制できる様に施工方法に配慮する。

実績結果の推移



Ⅶ 環境経営計画に基づき実施した取組内容・取組結果とその評価、次年度の取組内容

2022年8月～2023年7月における取組結果とその評価、次年度（2023年度）の取組内容

目 的	区 分	項 目	責任者	活動項目	評 価		今後の取組 (次年度)
					評価	内 容	内 容
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	斉藤	①消灯の確認・徹底	○	標示等をし徹底できた	継続実施
				②必要な照明以外消灯	○	標示等をし徹底できた	継続実施
		空調	斉藤	①温度設定 夏28℃冬20℃	○	標示等をし徹底できた	継続実施
				②クールビズ・ウォームビズ	○	標示等をし徹底できた	継続実施
				③フィルター定期清掃	○	定期的に清掃を行った	継続実施
				④使用しない部屋の空調停止	○	標示等をし徹底できた	継続実施
		その他	斉藤	①OA機器の節電	○	使用していない時は電源オフ	継続実施
	ガソリン・軽油	乗用車トラック	鈴木	①エコドライブ	○	標示等をし徹底できた	継続実施
				②日常・定期点検の実施	○	標示等をし徹底できた	継続実施
		重機	鈴木	①アイドリングストップ	○	標示等をし徹底できた	継続実施
				①排ガス・低騒音型機械の使用	○	使用できている	継続実施
廃棄物リサイクル	事務所		斉藤	①コピー用紙の両面使用	○	社内書類は徹底できた	継続実施
				②集約化購買	○	実施出来た	継続実施
	産業廃棄物リサイクル		斉藤	①廃棄物の分別化	○	徹底されている	重点策として継続実施
節水	上水		大塚	①節水表示	○	標示等をし徹底できた	継続実施
				②ストップガンの取付	○	取付けている	継続実施
建設工事に関する取組	特定工事他	特定工事	斉藤	①建設副産物リサイクル率向上	○	創意工夫で反映できた	継続実施
				②環境配慮工事の提案	○	提案に努めた	継続実施
受託した産業廃棄物の収集運搬に関する取組	特定工事他	特定工事	斉藤	①収集運搬取扱量の平準化、適切な収集運搬計画の作成による走行距離の短縮化	○	検討した	継続実施
				②収集・運搬産業廃棄物の飛散防止	○	適正処理に努めた	継続実施
地域貢献			鈴木	①近隣道路清掃	○	月1回道路清掃を行った	継続実施

＜備考＞

1. ○は良くできた ×は出来なかった △はもう少し努力が必要

＜原因及び是正措置＞

×になった箇所		×になった原因及び是正	
特に無し	原因		
	是正		

VIII 次年度以降の環境経営目標

我が社は、事業活動により発生する環境負荷量の変動が大きいことから、次年度以降の環境経営目標の設定方法として、前年度実績を基準値とする「スライド方式」を採用することとしました。

次年度以降の環境経営目標

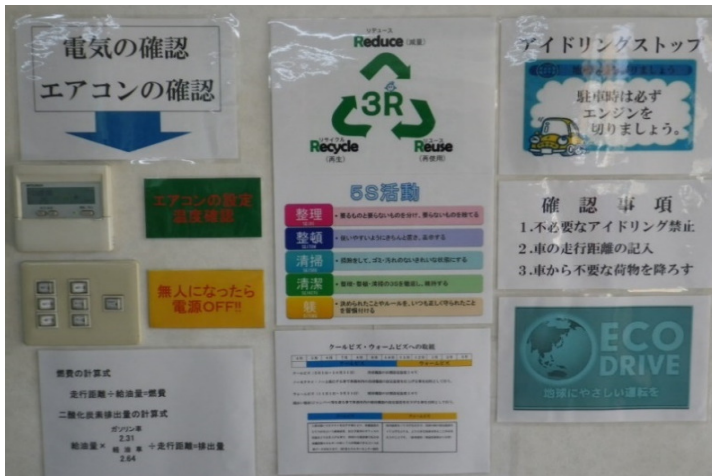
項 目			単位	基準値	目標削減率又は目標値			
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
				2022年8月 ～ 2023年7月	2023年8月 ～ 2024年7月	2024年8月 ～ 2025年7月	2025年8月 ～ 2026年7月	
二酸化炭素排出量			kg-CO ₂	79,849	-1%	-2%	-3%	
内 訳	電力		kWh	19,135	-1%	-2%	-3%	
	ガソリン		L	4,505	-1%	-2%	-3%	
	軽油		L	21,753	-1%	-2%	-3%	
	灯油		L	501	-1%	-2%	-3%	
	プロパンガス		kg	610	-1%	-2%	-3%	
廃棄物	一般廃棄物	排出量	t	0.963	-1%	-2%	-3%	
	産業廃棄物	排出量	t	806	-1%	-2%	-3%	
		リサイクル率	%	100	100	100	100	
水道使用量の削減			m ³	156	-1%	-2%	-3%	
建設工事に関する取組	環境配慮工事の提案		件	5	5	5	5	
受託した産業廃棄物の収集運搬に関する取組	収集運搬取扱量の平準化、適切な収集運搬計画の作成による走行距離の短縮化			適正処理に努めた	適正処理に努める	適正処理に努める	適正処理に努める	
	収集・運搬産業廃棄物の飛散防止							

<備 考>

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力(平成27年度)の調整後排出係数「0.482kg-CO₂/kWh」を使用した。

IX 当社の取組・実績（その1）

当社の取組 『社内に注意書きで社員の意識づけ』



『分別で処理時のCO2削減』



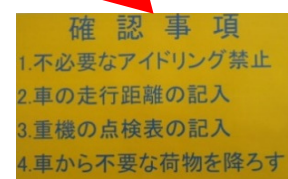
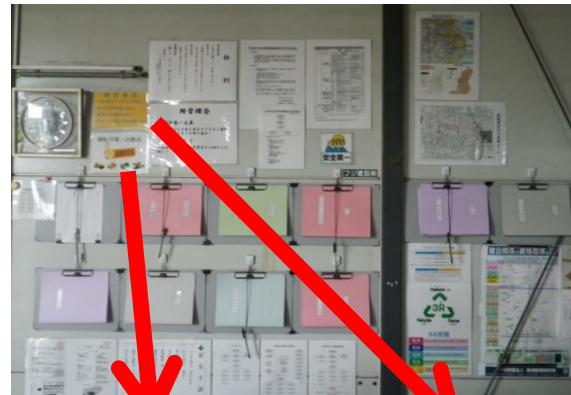
空き缶とペットボトル
を入れて置くドラム缶

『コピー用紙削減』



1. ミスコピーの削減
2. 不要な印刷の禁止
3. 両面コピーの実施
4. 社内書類裏紙使用

『車・重機等のCO2削減』



『地域との融合』



会社周辺の清掃

IX 当社の取組・実績（その2）

当社の実績

年 度	工事名	発注者	備 考
2011年度	焼津漁港地域自主戦略欧付近(漁港環境)第8地区施設整備工事	焼津漁港 管理事務所	
	小川4号線道路築造工事	焼津市役所	焼津市表彰
2012年度	6-163号線外道路築造工事	焼津市役所	焼津市表彰
	社会資本整備総合交付金事業(緊急経済対策)6-91号線外舗装工事	焼津市役所	
2013年度	社会資本整備総合交付金事業(緊急経済対策)木屋川北島線外歩行帯設置工事(その2)	焼津市役所	焼津市表彰
	三ヶ名地内外舗装復旧工事	焼津市役所	
2014年度	石津海岸公園管理用物置設置工事	焼津漁港 管理事務所	
	市役所前ポケットパーク整備工事	焼津市役所	
2015年度	社会資本整備総合交付金事業0105号線道路改良工事(その5)	焼津市役所	
	社会資本整備総合交付金事業志太海岸線舗装工事(第1工区)	焼津市役所	
2016年度	二級河川瀬戸川河川改良工事(護岸工)	静岡県島田 土木事務所	
	焼津駅道原線外道路築造工事	焼津市役所	焼津市表彰
2017年度	戦略畑地西原地区舗装1工事	志太榛原 農林事務所	
	(仮称)大井川防災広場水路付替工事	焼津市役所	
2018年度	二級河川栃山川豪雨災害緊急対策事業工事(河川掘削工)	静岡県島田 土木事務所	
	(仮称)大井川防災広場施設整備工事(その1)	焼津市役所	
2019年度	二級河川栃山川総合流域防災事業工事(河川掘削工)	静岡県島田 土木事務所	
	社会資本整備総合交付金事業0108号線ほか舗装工事	焼津市役所	
2020年度	令和2年度二級河川瀬戸川県土強化対策工事	静岡県島田 土木事務所	
	令和2年度(仮称)飯淵広場築造工事	焼津市役所	
2021年度	令和3年度二級河川朝比奈川河川改良工事(河床掘削工)	静岡県島田 土木事務所	
	令和3年度道路メンテナンス事業(コロナ克服経済対策)須原橋長寿命化工事(緑越明許)	焼津市役所	
2022年度	令和4年度上青島焼津線ほか橋梁補修工事(松葉橋ほか2橋)	静岡県島田 土木事務所	
	令和4年度防災・安全交付金事業会下ノ島石津8-8号線ほか道路築造工事	焼津市役所	



工 事 名 2016年度 焼津駅道原線外道路築造工事
 施工業者 フジ建設株式会社
 技 術 者 齊藤 健司



優良建設工事表彰対象

2016年度中に完成し、検査監が検査した256件の建設工事の中から特に優秀な成績を収めた施工業者と技術者に対して表彰状が贈られた。

当社の実績

今現在焼津市役所から4回の優良建設工事表彰を頂いております。

X 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規の遵守状況

評価日 2023年 11月1日

評価者 環境管理責任者 齊藤 健司

法規・条例・規則		条 項	適用内容または規制基準値	備 考	評価
	廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
		第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	・保管基準の遵守、保管場所の表示 ・廃棄物の悪臭、飛散防止	○
		第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
		第12条第6項	運搬・処分を委託する場合の処理基準遵守	処理業者と契約書の締結	○
		第12条の3第1項	マニフェストの交付		○
		第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○
		第12条の3第3項	収集運搬の管理票交付者へのマニフェスト返却	B1票の90日以内の送付等	○
		第12条の3第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票5年間保管	○
		第12条の3第7項	マニフェストの交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○
		第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのB2(90日以内)D、E票(180日以内)の期間内返却	○
		第12条9	多量排出事業所の削減計画の届出及び実績報告	産業廃棄物排出量 1,000 t/年以上	○
		第14条第1項	産業廃棄物の収集運搬業の許可	県知事の許可	○
		第14条第12項	産業廃棄物処理基準の順守	産業廃棄物収集運搬業者	○
		第14条の2	産業廃棄物の収集運搬業の許可等変更	県知事の許可	○
	建設リサイクル法 (建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	第5条	建設業者の責務	分別の励行、リサイクルの推進	○
		第9条	対象建設工事受注者又は自主施工者の分別解体等の実施	その他の工作物に関する工事 (土木工事等—500万円以上)	○
		第10条	対象建設工事の発注者又は自主施工者の対象工事の届出	発注者に工事計画等を説明し工事着手7日前までに市長に届出書を提出	○
		第12条	対象建設工事受注者の発注者への届出事項説明		○
		第16条	対象建設工事受注者の再資源化等の実施		○
		第18条	対象建設工事の元請業者による発注者への特定建設資材廃棄物の再資源化工事等の完了報告	発注者への完了報告	○
		第31条	技術管理者の設置		○
	浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	○
		第10条の2	浄化槽の使用開始報告書の提出	使用開始から30日以内に県知事提出	○
		第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回/年)	○
	家電リサイクル法 (特定家庭用機器再商品化法)	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電(テレビ・冷蔵庫他)廃棄時のサイクル料金の支払	該当なし
	自動車リサイクル法 (使用済自動車の再資源化等に関する法律)	第8条	使用済自動車の引渡義務		該当なし
	フロンガス排出抑制法 (フロン類使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)	第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払(廃車時)	該当なし
		第16条	自身での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施	企業の管理者が確認	○
		第41条	第1種特定製品廃棄物実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引渡義務 簡易点検の実施(3ヶ月に1度)	○
	建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		○
		第25条第1項	主任技術者の設置		○
		第25条第2項	監理技術者の設置		○
責務・努力	静岡県条例	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第82条	産業廃棄物管理責任者の設置	○
			第10条	委託先の実地確認と記録の保存	○
	法 令	環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	E A 21の取組
		地球温暖化対策推進法	第5条	自主努力義務、行政への協力	E A 21の取組
		循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力(廃棄物等の内有用な物循環的な利用を促進)

※○は適正に行われている。－は資料等はないが取組んでいる。該当なしは今年該当なしと言う事。

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年ありませんでした。

XI 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 2023年11月1日

1・見直し関連情報	項 目		確認（必要に応じて評価・コメント記載）
	1	エコアクション21文書	☒ 記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒ 一般及び産業廃棄物排出量は未達成
	3	環境経営計画及び取組実施状況	☒ 継続して取組めます。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 別紙にて報告するようにします。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☐
	8	その他	☐

2・代表者による全体評価・見直し指示

対象期間2022年8月1日～2023年7月31日の取組結果としては、一般廃棄物排出量と産業廃棄物排出量が未達成でした。

ご承知の通り建設業においては、請負工事内容や工事現場の数で廃棄物発生量が左右されることから、その排出量を削減するのは、非常に難しい面があります。

今後につきましては、従業員に対して廃棄物の発生が抑制できる様に事務処理や施工方法に配慮する様に再度指導すると共にし、どうしても発生した産業廃棄物につきましては、排出事業者として責任を持って適正に処理します。また、リサイクルにも努めます。

いずれに致しましても、今後についても、自社が請負う工事内容により、目標を達成できない時もあると思いますが、定めた目標が達成で出来る様に、全社員で努力していきたいと思ひます。

2023年11月1日
フジ建設株式会社
代表取締役社長 齊藤 健司

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有 ☒	
2	環境経営目標	☒ ・無	我が社は、事業活動により発生する環境負荷量の変動が大きいことから、次年度以降の環境経営目標の設定方法として、固定方式より前年度実績を基準値とする「スライド方式」を採用する様に指示しました。
3	環境経営計画	有 ☒	
4	環境関する組織(実施体制含め)	有 ☒	
5	その他のシステム要素	有 ☒	
6	その他(外部への対応)	有 ☒	